

ゆうあいホスピタル・心理部門についてのQ&A

心理士さんって
どんなことをしているの？



外来患者さんや入院患者さんとお話をしながら、
その人の困っていることを解決するお手伝いや、
病気の治療が進んで元気になるためのお手伝いを
させてもらっています。



話をすると、どうなるの？



私たちのするお仕事にはいくつか種類があります。
その中の一つが「心理アセスメント」と言われています。
「相談者の気持ちや考え・それが出てくる背景にあるその人の健康や生活・余
暇など色んなことを聴かせてもらい、治療・支援につなげること」を
目的にしています。(次へ)



例えば、同じ病気の人でも、その人の置かれている生活環境や性格、
職業、人間関係は様々です。そうした色々な情報をまとめていき、
その人にとってどのような治療・支援が適切か考えていきます。

心理面接で話してもらった内容や**心理検査**で分かった結果、
その時の様子などを通して患者さんについて教えてもらいながら
一緒に進めていきます。



心理検査って何をするの？



静かな部屋で、質問に答えたり絵を描いたり、色々な道具を使ったりしてもらいます。

その人の得意なことや不得意なことの特徴や自覚している気持ちが落ち着いているの
か、苦しいのかなど、今の自分を客観的に評価する手がかりにもなります。

自分自身で気づいている性格について整理したり「もしかすると、自分にはこういう特
徴があるかも？」と考えるきっかけにしたりして自分についてもっと知っていくきっか
け作りにもなります。(次へ)



ただ、心理検査を行ったとしても、その人の全てを知ることはできません。大切なのは、結果から分かったことを治療・支援に活かしていくことです。

検査に取り組む時間は 10 分ほどで終わるものもあれば、2 時間以上かかるものもあるので、取り組む時には前もって患者さんの予定も確認しながらスケジュールを決めていくことが多いです。



心理面接ってなに？ 友達や家族と話をすると何が違うの？



心理カウンセリングや心理療法ともいわれています。

病院に来られる人は病気の事で悩んだり辛い思いをしたりしている方も多く、そうしたことを面接の中で話し合うことはあります。

心理面接は病気の治療といったことだけでなく、相談者一人一人の価値観を大切にしながら、悩みや病気や問題があったとしても、それらとどう一緒に生きていくか、これからどのように人生を生きていきたいか、といったことについて一緒に考えていく機会となるように話し合っていくやりとりになります。





ゆうあいホスピタルでは他にどんなお仕事をしているの？

心理士が患者さんと心理面接や心理検査などを行って分かったことをチームで治療を進めるために他のスタッフとも共有しています。

また、外来では初めてゆうあいホスピタルを受診された初診患者さんや家族の方に対して、**今困っていることや病院に来られたいきさつ、子どもの頃から今に至るまでのライフイベントなどについて大まかに聴き取る「予診」**を担当しています。

予診は大体 40 分前後時間をいただいてお話を聴いています。

初診の場合、先生の診察を受けるまでに予診に加えて必要に応じて血液検査や脳画像検査なども行うこともある為、2 時間以上かかることもあります。

詳しくは初診の案内のページを参考にしてください。



何人くらいの心理士さんがいるの？どんな資格をもっているの？



ゆうあいホスピタルには2022年11月現在で、女性2人、男性1人、合計で3人の心理職員が在籍しています。

3人とも国家資格の公認心理師免許を持っている専門職員です。

またその内の2人が臨床心理士(民間資格)、1人が精神保健福祉士(国家資格)の免許も持っており、知識や技術を活かして業務に励んでいます。



どんな流れで心理面接や心理検査を受けるの？



主治医の先生が診察を通して必要だと判断して、心理面接や心理検査を患者さんに提案して行う場合や、患者さんからご希望があって主治医の先生もそうしたものが必要だと判断した場合に、行う場合などがあります。

どういった場合であっても主治医の先生の判断は必ず必要になります。



心理検査や心理面接を行うお部屋について



心理面接や心理検査などについて、ちょっとしたことでも何か気になる事や質問があれば、お気軽にお近くのスタッフまでお問い合わせください。